

「われら卒業生」

～ありがとうを伝える～

このコーナーでは、各企業・団体・個人の皆様からの温かいご浄財を基金とした当会の奨学金制度を利用し、無事、学業を終えた奨学生や、現在も学業に励んでいる奨学生の声を掲載しております。

第37回

辻 未来

2020年3月、無事大学を卒業することが出来ました。

新型コロナウイルス感染症の影響で卒業式がなくなってしまったことは残念ですが、無事大学を卒業し、新社会人になれることを嬉しく思います。こうして大学を卒業できたのは、私を支えてくれた多くの人のおかげです。母は私を大学に通わせてくれましたし、私は部活にも入り、自由に大学生生活を過ごしてきました。理工学部だったので授業料も莫大で、その上アーチェリー部に所属していたので、そのための費用も多くかかりました。大学から奨学金を借りている周りの友達の話を知っている

と、大阪交通災害遺族会に入っていて、さらには奨学金を受けられたことは幸運だったのだと思います。寄付してくださいの方々には大変感謝しています。

大学卒業後は建設会社に入社することが出来ました。こちらも新型コロナウイルス感染症の影響で、東京での1カ月の研修が中止になってしまいました。東京での初めての一人暮らしを楽しみにしていたのでとても残念に思いましたが、内定取り消しというような最悪の事態にはならず、ほっとしています。初めは配属先の営業所でオンライン研修を受けていましたが、緊急事態宣言が発令されてからは自宅でのオンライン研修となりました。会社としても初めての試みのようで、どうなるのか不安でしたが、無事研修を終え、ゴールデンウィー



ク明けから通常業務が始まる予定です。初めに中国の武漢で新型コロナウイルスと話題になったときはこんなことになるとは思っていませんでした。大変な時代ですが、この時期に体験したことは得難い経験になると思います。ネガティブではなくポジティブに考え、自らの糧にして頑張りたいと思います。

私の家族や、大阪交通災害遺族会の方、寄付してくださった方々、今まで支えてきてくれたたくさんの人に感謝しています。これからは新社会人として、BLCのリーダーとして、今まで受けてきた恩を返していきたいと思います。

あらためてお礼申しあげます。本当にありがとうございました。

「われら卒業生」

～ありがとうを伝える～

第38回

小池 洋平

中学2年生までの自分は勉強もできず、母にもよく迷惑をかけました。そんな自分を変えてくれたのが当時クラス担任をしていたいただいた一人の英語教師でした。その先生はすごく自分の事を気にかけてくれ、勉強のできない自分にも理解できるまで熱心に英語を教えてくださいました。それから、相変わらず勉強は嫌いでしたが英語だけは好んで勉強するようになり、お世辞でも偏差値の高い学校とは言えませんが高校受験にも合格することができました。恐らく、その先生との出会いがなければ中学の3年間で勉強もせず無駄に過ごしていたと思います。この経験から教師という仕事は人の人生に直接関わるものだということを実感し、教師という仕事に魅力を感じ始めました。高校進学後、英語が得意だった自分に英語科の大学を目指すべきだと言ってくれた先生の一言から、早い段階で受験勉強に取り組むことができ、関西外国語大学に合格することができました。

これら二人の先生の存在は自分の人生において非常に大きな存在で、高校卒業時には教師になることを決意していました。大学入学後は目標であった留学体験を実現させるため、留学審査に向けての勉強に励みました。その際、交通遺児奨学金を利用させていただいたことでアルバイトをする必要もなく、その分勉強に時間を割くことができました。そのおかげもあり、一年間の留学も体験することができ、昨年の大阪府教員採用試験にも合格することができました。

現在は大阪府の公立高校に英語教師として勤めています。新型コロナウイルスの影響により、いまだ授業はできていません。(4月25日現在)それでもこれから生徒と出会い、三年間を共に過ごすことを想像すると本当に楽しみです。

こうやって高校教師になれたのは、母、中学と高校で出会えた先生、そして交通遺児奨学金にご寄付をしてくださった方々のおかげです。この感謝の気持ちを持ち続け、これからも学ぶことを止めず、立派な教師になれるよう努めます。



今年の春に大学を卒業された皆さんは新型コロナウイルス感染症拡大影響のため、通常の社会人デビューとはいかず、大変な門出となりました。そんな中でも前向きに目標をもって進んで行かれる新社会人、学生の皆さんにはこの困難な時をプラスに変えて、ぜひ新しい時代を拓いていただきたいと思います。

頑張ってください。